

2023（令和5）年度

武蔵大学 FD 活動報告書

武蔵大学ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会

FD 活動報告書刊行に寄せて

武蔵大学長 高橋 徳行

2023 年度は、2019 年度終盤から始まった新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく、授業運営を行うことができました。実に4年振りのことになります。もちろん、今も新型コロナウイルス感染がなくなったわけではありませんし、後遺症で苦しんでいる人も数多くいらっしゃいますので、手放しで安心できる状況ではありませんが、キャンパスに学生が戻り、対面での授業や会話が增えたことは、とてもうれしいことです。

本学は「大学通信」の調査による大学ランキングでは「面倒見が良い大学」として14年連続の首都圏第1位(2023年度)です。また、教育力も高く評価され、「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」では首都圏第4位、「教育力が高い大学」としても首都圏第8位にランクされています。

このことは、一人ひとりの先生方の日々の努力の結晶であり、FD 活動はそのような先生方の日々の取り組みを支援するものです。

FD 活動は、大学全体でなければ取り組むことができない授業評価アンケートや貴重な情報交換やベストプラクティスを知る機会となる FD 研修、そして学生の声を広く聞く機会である FD フォーラム等を実施しています。

林雄亮 FD 委員長が活動報告の中で触れているとおり、授業評価アンケートの回答率は昨年度と比べて改善しておりますが、まだまだ十分な水準とはいえません。2023 年度から再度導入した自由記述欄の記入を通して授業改善のヒントが数多く提供されます。また、今年度より教学マネジメントの PDCA サイクルを機能させるために重要な情報であるディプロマ・ポリシーに関する設問も導入するなど、授業評価アンケートには授業運営を日常的に改善していくための重要な情報が凝縮されています。

FD 研修会は広義の FD・SD 研修会として開催し、藤村正之上智大学教授に講演をお願いしました。藤村教授は、教学マネジメントの制度設計からの視点、上智大学副学長の経験による大学経営の見方、現場で教壇に立たれていることからの知見に加えて、武蔵大学で専任教員の経験があるという、これ以上は望みようがない素晴らしいバックグラウンドをお持ちの方であり、研修会も非常に有意義なものとなりました。

そして、FD フォーラムです。今回はオンラインを活用して行いました。慣れないところもある一方で、オンラインならではの機能も使いながら、活発な意見、議論が交わされました。するどい視点で授業そのものにとどまらずカリキュラム全体に関しての意見を述べる学生もいて、私たち教員にとっても貴重な学習の機会になっています。

大学を取り巻く環境は以前にも増して急速に変化し、厳しさを増しています。2022 年に出生数が 80 万を切ったばかりですが、2023 年は早くも 75 万人台になりました。今後、情報通信技術が発達し、グローバル化がさらに進展する中で、常に新しいことにも挑戦していかなければなりません。データサイエンス教育の強化も待たなしです。引き続き教育力向上の中核を担う FD 活動へのご理解とご協力をお願いして巻頭言とします。

2023 年度活動報告

FD 委員長 林 雄亮

2023 年度になり、いくつかの特例を除いて、ほとんどの授業は対面で実施されるようになりました。2022 年度と比較しても、キャンパスも多くの学生が行き交う明るさを取り戻しています。

2023 年度は、国際教養学部が開設されて2年目に当たります。1年目の反省点を振り返りながら、教職員が試行錯誤し、より良い教育の場となるよう励んでいます。また、同じく2022 年度から変更となった時間割と授業スケジュールへの対応も、2年目としてうまく機能しているのではないかと思います。

さて、2023 年度は、具体的に以下のような FD 活動を実施しました。

第1に、毎年実施している「授業評価アンケート」については、今年度も引き続きウェブ上での実施となりました。アンケートの内容には自由記述項目も設け、既存の調査項目からは捉えきれない学生たちのニーズやアドバイスを汲み上げることとしました。従来からの懸念事項であった回答率は前年度と比較してやや上がっており、対面授業への回帰とそこでのアナウンスが効いたものと考えられますが、絶対的な水準としては依然として低い状況ではあり、回答率の向上が継続的な課題となっています。

第2に、今年度から FD 研修会は SD(スタッフ・ディベロップメント)の内容も含んだ広義の FD・SD 研修会として開催することになりました。その第1回は久しぶりの対面開催となり、6月 15 日(木)に、藤村正之氏(上智大学総合人間科学部社会学科教授)をお招きし、教学マネジメントについてのご講演をいただきました。客観的なデータとご自身の経験、さらに藤村先生は本学でも教鞭をとられていたこともあり、大変興味深い内容で、盛況でした。

第3に、10月 12 日(木)に FD フォーラムをオンラインにて開催しました。「武蔵大学の教育(授業)に対する改善点について」というテーマで、今年度は各学部内で、ざっくばらんに意見交換をしてもらうことを目的に、各学部と教職課程に分かれての実施となりました。各学部、教職課程選出の FD 委員の司会のもと、14 名の学生より率直な意見や要望をプレゼンテーションしていただきました。専任教員に対しては、自身の所属学部・課程以外の FD フォーラムの様子も見ていただけるよう、後日、すべての録画を共有しています。また FD フォーラムにおいて登壇学生からいただいた意見については、そのリプライや今後の対応について改めてまとめた資料を作成し、全学へ公開しています。

以上、2023 年度の FD 委員会の主な活動を報告させていただきました。また、本報告書の最後には、会議記録などを掲載しています。これらの記録を通じて本年度の本学の FD 活動の状況を理解していただくことができれば幸いです。